

# 横路福祉社会会報

〒七三七〇一三三  
 呉市広横路四丁目一四六  
 横路福祉社会  
 編集発行人  
 神垣 光徳  
 (0823)7118197

「創立 65 年を迎えて」

社会福祉法人 横路福祉社会  
 理事長 神垣 光徳

昭和 24 年 7 月 1 日に P T A 立横路保育所として設立されて、爾来 65 年を迎えました。第 1 期の園児は、既に高齢者の仲間入りをされ、お孫さんが当保育所に入所される等、親子 3 世代から 4 世代を迎え、誠に感慨深いものがあります。卒園生も数千人に上るなど、地域に密着した保育所としてこれまで運営できたのも、事業に関わって来られた皆様のご苦勞と地域の皆様の支えあつての賜物と厚くお礼申し上げます次第です。

さて、平成 27 年度からは、幼児期の学校教育や保育、地域の子育て支援の量の拡充や質の向上を進めていく「子ども・子育て支援新制度」が本格スタートします。これまでの学校教育法による幼稚園と児童福祉法による保育所に加え、認定こども園、小規模保育の仕組みが示されています。当保育所としては、これまでの保育所であるべきか、認定こども園に移行するか、国・県・市の情報を的確に把握し本年度中に判断して参りたいと考えています。しかし、「横路保育所」としての基本となる保育については、これまでの培ってきた伝統を変えることなく、乳幼児一人一人を大切にすることはもとより、開かれた保育所として、より地域住民の信頼を得ていきたいと思えます。

今後とも、皆様方の一層のご理解とご支援を頂きますようお願い申し上げます。



## 平成 25 年度 事業報告書

### 1. 保育児童数の状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
0才児	7	7	7	8	9	9	9	9	9	8	8	8	98
1・2才児	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	492
3才児	32	32	32	32	32	32	32	33	33	33	33	33	389
4才以上児	65	65	65	65	63	63	63	64	64	64	64	64	769
計	145	145	145	146	145	145	145	147	147	146	146	146	1,748
開所日数	25	24	25	26	27	23	26	24	23	23	23	25	294

### 2. 一時保育利用者数(延べ人数)の状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
3才未満児	87	99	128	148	94	99	121	139	124	142	149	99	1,429
3才以上児	0	12	21	32	60	43	48	41	45	67	76	43	488
計	87	111	149	180	154	142	169	180	169	209	225	142	1,917

### 3. 延長保育利用者数の状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用者延べ数	159	151	128	159	91	125	138	136	117	110	115	141	1,570

## 平成 25 年度 社会福祉法人 横路福祉社会

単位:円

### 貸借対照表

平成 26 年 3 月 31 日

科目	金額	科目	金額
流動資産	37,068,577	流動負債	1,814,925
固定資産	116,307,418	固定負債	6,594,400
		基本金	9,325,625
		国庫補助金等特別積立金	42,706,219
		その他の積立金	43,950,000
		次期繰越活動収支差額	48,984,826
計	153,375,995	計	153,375,995

自 平成 25 年 4 月 1 日

### 収支決算書

至 平成 26 年 3 月 31 日

科目	金額	科目	金額
人件費支出	95,718,228	保育所運営費収入	103,489,900
事業費支出	17,998,634	その他の事業収入	17,838,727
事務費支出	8,385,605	受取利息配当金収入	45,497
固定資産取得支出	456,500	その他の収入	2,656,190
積立預金積立支出	0		
当期資金収支差額	1,471,347		
計	124,030,314	計	124,030,314

## 平成 26 年度 第 1 回役員会

5 月 23 日横路保育所において、役員会が開催されました。議題として諮られた平成 25 年度の事業報告と収支計算は事務局の説明と監事による監査の結果報告に続き質疑の後、承認されました。平成 25 年度収支決算の状況は下表のとおりです。

## 平成 25 年度事業報告書

### 1・事業の概要

(1) 国において、子ども・子育て支援新制度が平成 27 年度本格実施されることが決定され、「保育の量的拡充」「質の改善」が打ち出されました。幼児教育と保育が一元的に運営できる制度改革期の今だからこそ、先を見据えた保育の姿を考え具現化する力量が望まれています。

また、虐待やひとり親家庭の増加等、子育て環境が大きく変化する中で保護者とともに子どもたちをどう育てていくか、「保護者とのパートナーシップ」の大切さが問われています。特に、子育てに不安を感じる家庭への相談支援等、保育所が地域の子育て拠点として機能発揮できるよう努めて参りました。

このような状況の中、当保育所は、「保育者の専門性」「保護者との関係性」「保育の内容と質」を高め、一人一人の保育を大切にしながら、信頼感や満足度を高めていけるよう、保育力の向上に日々努め、運営を行って参りました。

(2) 私立保育所がより質の高い運営を目指すうえで、自治体の監査指導も必要ですが、新制度においては、第三者評価システムの導入がうたわれています。こうしたことを念頭に置き、保育内容や取り組みを始め、社会福祉法人 横路福祉会の財務内容をホームページにて情報公開する等、「開かれた保育所」として信頼されるよう努めて参りました。

(3) 生活の大半を保育所で過ごす子どもたちにとって、成長・発達や心の安定のため、毎日の食事が重要であり、積極的に「食育」への取り組みに力を入れています。特に、昨今、食物へのアレルギー疾患児童が増加しており、給食を安全に提供するために、保護者との徹底した聴き取りを始め、栄養士・調理師・保育士が日頃から連携して、子どもの状況を的確に把握するなど、望ましい食生活のあり方に意を用いて参りました。



『初めて』の経験から

保育士 土岡 まどか

私は短大を卒業後、横路保育所に勤めさせて頂き今年で二年目になりました。

勤めさせて頂くようになって、小さい頃からの夢が叶った嬉しさと同時に不安な気持ちでいっぱいでした。短大で色々なことを学ばせて頂きましたが、実際に現場にでると何もできず、先輩の先生方に頼ってばかりで、何もできない自分に苛立ちを覚え悩む日々でした。

しかし、そういった反面、子どもたちの笑顔を見ることでとても癒され、頑張ろうという気持ちの源にもなりました。また、「初めは分からなくて当たり前。分からないことは何でも遠慮せずに聞いてね。」と色々な先生方に優しく声をかけて頂き、とても気持ちよくなりました。できないできないと一人で悩んでばかりいるのではなく、分からないことは聞くこともとても大切だと感じました。経験豊富な先生方が多いこの環境にとっても恵まれているなと日々思います。

一年目はもちろん初めてなことばかりでしたが、二年目になっても受け持つ子どもたちの年齢が変わることで初めて経験することばかりの毎日です。これからも、まだまだ「初めて」を経験し困難や壁にぶつかり悩むこともあると思います。ですが、失敗に恐れず色々な経験を増やしていきたい、そこから学んだことを生かして保育力を日々向上していきたいと思えます。

今は日々勉強ですが、少しずつ子どもたちの笑顔を増やしていけるよう、保護者からの信頼を頂けるように、まずは自分が常に笑顔を絶やさず頑張り、子どもたちと共に成長していきたいと思えます。



入園式



親子遠足



交通安全七夕会



クッキング



「仕事を通して気がついたこと」

保育士 山本 明代

私が保育士という職業を目指したきっかけは、幼い頃通っていた保育所の先生に強い憧れを抱いたからです。年中、年長と担任をしてくださったその先生は、いつも優しい笑顔で私に話しかけてくださり、『先生と話すの楽しい！』『明日も早く保育所に行きたい！』と感じたことを覚えています。保育所を卒園してからも、先生に会いたいと思うことがよくありました。そして、いつしか『私も先生のような保育士になりたい』と思うようになりました。短大で保育を学んでいくうちに、保育の奥深さや大切さを知りました。課題や実習に追われた二年間でしたが、『保育士になりたい』という気持ちを持ち続け、必死で乗り越えてきました。

そして、昨年四月、短大を卒業してすぐに、この横路保育所で勤務させて頂くことになり、私はずっと憧れていた保育士としての人生がスタートしました。0歳児ひよこ組を担当させて頂き、最初は分からないことばかりでしたが、社会人として、保育士として、先輩方から沢山のことを教わりました。子どもたちから学ぶことも多く、毎日新しい発見の連続でした。保育士という仕事の大変さややりがいを実感した一年でした。今年度に入り、二歳児りす組を担当させて頂くことになりました。いつも元気なりす組さんと一緒に過ごし、毎日パワーをもらっています。子どもたち一人一人をしっかりと見て、それぞれにあった言葉掛けや援助をしておられる先輩方を見て、『こういう対応もあるんだ』『こうすればいいんだ』と、勉強の日々です。

仕事を通して気がついたこと。私は、本当に多くの人に支えられているのだということ。横路保育所の職員の方々をはじめ、家族、友だち、子どもたち・・・私の周りには支えてくれる人がこんなにたくさん、いえ、もっとももっとたくさんいます。常に感謝の気持ち忘れず、周りの人が私にしてくれているように、私も子どもたちにたくさん愛情を注いでいきたいと思えます。そして、私自身、保育士として成長していきたいように、こんな素敵な職場で、先輩方を見習いながら自分を磨いていきたいです。



ピザのできあがり